

社会福祉法人 友愛十字会

ゆうあい

1984

9・25

No. 1

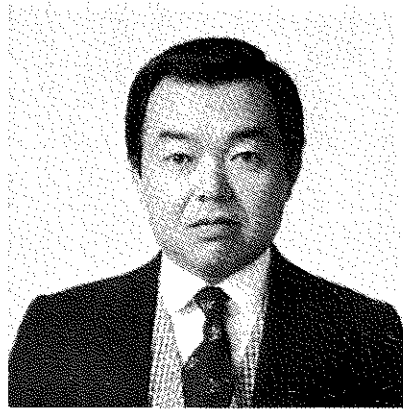


改築なった東京都ろうあ者更生寮

主な記事

- 発刊のごあいさつ 総 裁 三笠宮寛仁親王殿下
- 再刊にあたり 会 長 加藤威二
- 改築なった東京都ろうあ者更生寮
- ユニークな授産、風船印刷
- 老人ホームの一日
- 老人のパラダイス!! 町田・友愛荘
- クラブ活動 楽しいへら鮎釣り

題字 前総裁 三笠宮崇仁親王殿下



発刊のごあいさつ

社会福祉法人 友愛十字会

総裁 寛仁親王

友愛十字会の機関紙が再刊される事になりました。再刊日は

創立された日を期して第一号を発行する事になりました。私が総裁に就任してから十年が経過しました。この間友愛十字会も父が総裁を務めていた頃と随分変化しました。役員も代わりまして、事業も運動会、宮様ボウリング大会、全

国心身障害者(児)芸能コンクールを始め歌舞伎、愛のコンサート、各種スポーツクラブの合宿等に皆が積極的に参加するようになりました。これらは我国特有の閉鎖されがちな障害者問題から、積極的に社会にとけ込み、健常者と共に生きていくという正しい意味での福祉活動に友愛十字会全体が取り組み始め、ほぼ成功しつつあるという事であると思います。今回の機関紙再刊が、前述の前向きで明るい福祉活動の状況を皆が今以上に理解する場となると共に、外部の人々に我が友愛十字会の正しい姿を理解していただく場となる事を期待しています。

再刊にあたり

社会福祉法人 友愛十字会

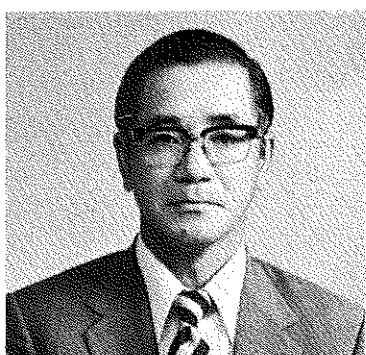
会長 加藤 威二



本会は、戦傷病者を含む身障者の更生援護事業を行う団体として、昭和二十五年に設立されてから本年は三十四年になります。

この間、本会は民間における身障福祉団体として、戦後の厳しい時代から今日に至るまで、身障者にとって必要な多くの事業を実施して、その福祉向上に寄与することができましたのも本会の初代総裁の三笠宮崇仁親王殿下及び現総裁の寛仁親王殿下を始めとして、関係各位のご支援の賜と感謝している次第でございます。

さて、本会におきましては、昭和四十一年から四十七年ま



で会の機関紙として「友愛だより」を発行して、本会と関係者各位とを結ぶよきパイプ役となっていたので

ありますが、止むを得ない事情から十三号をもって休刊となつて今日に至っております。

情報化時代の今日、本会としてもかねて機関紙の必要性を痛感していたのでありますが、このたび、名称を平仮名の「ゆうあい」として再刊第一号をお届けすることになりました。本会総裁の三笠宮寛仁親王殿下から本号にも玉稿を頂きましたが、今後につきましても随時、所感をお書き願うことになっておりますとともに、本誌の編集についても格別の御指導を頂く予定になっておりますので、何とぞご期待頂きたいと存じます。

今日、福祉は新たな段階に入っておりますが本会におきましては身障者の福祉向上を第一義として設立された原点を忘れず、また今後ますます社会が必要としている老人福祉対策を含め事業の進展に最善を尽す決意でございます。「ゆうあい」を発刊するにあたり、関係各位の一層のご支援をお願い申し上げてご挨拶いたします。

友愛十字会の事業

本会は、戦後、ハワイ在留邦人の暖かい同胞愛による寄附金を基金として、戦傷病者を含む身体障害者の更生援護事業を行う団体として昭和二十五年に設立された社会福祉法人です。

法人設立後の本会の活動は、身障者福祉を中心事業として今日に至っておりますが、現在の事業内容は、次の三本の柱で構成されています。

その一は、社会福祉施設の経営で、身障施設二、

老人福祉施設二、計五施設です。

(一) 身障授産施設 世田谷更生館

(二) 重度身障授産施設 友愛園

(三) ろうあ者更生施設 東京都ろうあ者更生寮

(四) 養護老人ホーム 友愛ホーム

(五) 特別養護老人ホーム 友愛荘

その二は、事業の経営で、事業部(港区西新橋二ノ一九ノ七)と、第一作業所(友愛書房)千代田区霞が関一ノ二中央合同庁舎五号館内)があります。

その三は、身障者に関する啓蒙普及事業として、本部が直接関与している次の事業です。

(一) 世田谷所在の諸団体と一諸に行っている「合同運動会」の開催、(二) 全国の心身障害者を対象とした「心身障害者芸能大会(愛のステージ)」の開催、(三) 「宮様チャリティーボウリング大会」の開催

友愛十字会は、今後とも身障福祉を中心として、社会福祉の増進に一層の努力を尽して参ります。

改築成った

東京都ろうあ者更生寮

ろうあ者更生寮は、開設されてから入所者が定員に達したことがない。更生施設の対象者が少ないのではないかと、という批判が聞こえてきていました。

昭和四十年七月、更生寮が開設されて以来、年度毎の平均実績では定員に達したことは全くなく、近年は七〇%以下であったのは事実です。住宅市街地にある小規模施設として、十分準備検討する期間のないまま建設された更生寮は、居室スペースの不足、訓練機能の不備、入所者全員が集まれる集會室を持たない等の問題を抱えていました。

特に居室部分は、通常の規格より小さい八畳の和室が八室で、施設の設置基準を下回り、入所者の体格が年々良くなっていることもあって、一室三名全体では二十四名の使用が限界となっていました。

この問題の解消のために長年にわたって設置者である東京都に増改築の要望を続けてきましたが、財政の豊かであった経済の高度成長期にも見送られてきたのは、対象者が少ないのではな

いか」という、誤った認識も、その一因ではなかったかと思われます。

昭和五十七年度で増改築が決まり、基本設計の段階で更生寮内部で検討した主なものは、居室、訓練室、集會室をどのように設けるかということでした。

一室の利用人員を何名にするか、洋室のベッド式にするか、畳敷の和室にするか、望ましい居室の規模はどの程度がよいか、ということでした。

個室は、入所者個々のプライバシーの確保のためには理想的ではあるが、入所者相互の日常生活での交流が更生訓練の基本であることから問題がある。二人部屋は、同室者の仲が良い時は問題はないが、相性が悪いときには、トラブルが絶えない。三人部屋は、同室者の二人が仲良くなつて二対一での対立が自然に起きる傾向がある。四人部屋は、自然にもたれる生活空間の個々の拠点の設定に問題がある。

洋室か、和室にするかについても、個々のプライバシーをより確保し、室

内の清掃管理のためには、洋室の方が良い。入寮前は殆どの者が和室生活で将来自立する場合もアパートで和室が多いことでもあり、居室での開放感、ゆとりのある日常生活からは和室の方が望まれる。

それぞれに一長一短があり、なかなか結論はでなかったが、基本設計のタ イミングの関係から時間切れの形で、一室二名、畳敷の和室ということになりました。

一見安易な結論ともいえますが、長期間研究検討した経過は、今後の運営の中で生きてくるものと思います。

訓練室については、生活指導とコミ

ユニケーション訓練のための生活訓練室、職能開発のための職業訓練室と医務室を兼ねた聴能訓練室の三つの機能を設けることができました。

集會室については、利用者の意思伝達が「手話」によることから、通常以上の広さが必要となるので、食堂と集會室を併合させ床面からガラスの扉で家庭に開放することによって、より広いスペースを確保することを検討しました。

コミュニケーションや職業訓練では自立更生のめどはついていても、食生活、生計管理等については問題がある者に寮内での訓練の中で短期間、独立形態で自炊経験をさせるための炊事設備をつけた自立生活訓練居室も二部屋設けることができました。

寮の運営管理で一番気にかかっていたことは、火災等の非常時対応です。入所者が聴覚に障害をもっていることから、非常事態の周知は、非常ベルや音声は全く役に立ちません。一人一人に接触して周知しなければならぬだけに、今度の増改築により、非常通報用のライト設置と、全居室の扉をマスターキー一本で開閉操作ができるようになったことは、なお問題はありますが、一歩前進することができました。

増改築の完成により、立派になった建物設備にふさわしい更生寮の事業内容の充実に努力を重ねてまいります。



ユニークな授産 風船印刷

世田谷更生館

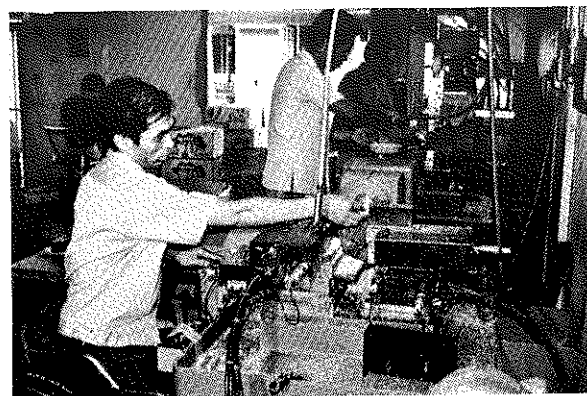
身体に障害のある人達の職業訓練の場として、しかし、今ではむしろ働く場と言った方が良いのかも知れませんが、世田谷更生館と友愛園では一五一名の入所者が、段ボール製品、洋服仕立、和裁など十種の授産科目に一生懸命取り組んでいます。その中の一つで、他の授産施設に見られないユニークな職種を紹介してみます。

風船印刷という耳慣れない作業科がそれです。ゴム風船をコンプレッサーで膨らませて、ベルトコンベヤーの上にセットし、パンダ、ウルトラマンなど人気者の絵を木版にして印刷するのが作業の内容ですが、車椅子使用者や、ろうあの人が印刷をして、左と右の半身に障害のある人を組み合わせて膨らませるようになるやり方も特徴の一つです。一台の機械に二人で膨ら

ませるのですが、コンビがうまくいくと、膨らんだ風船が、色とりどりにベルトの上に乗せられ、まるで踊っているように流れて行く様は壮観です。

世田谷更生館では、十八年前に作業を始めた段ボール科と並んで最も古い授産科です。当初、業界でも風船の印刷は、手渡し式や、自転車車の車輪にベルトをつけて手廻しで印刷しており、障害のない人が一日一万个を仕上げるのに苦労していた時期に、施設で障害のある人達が訓練として作業しながらそれ以上の数

量を上げたものですから、メーカーや問屋がびくつきりして、よく見学に見えたものです。現在でも、印刷では業界第一位で、二十人で一日約八万个の印刷を上げることができます。しかし、ゴム風船業界では、これまでの「安く、大量に」よりも、最近では「値段は高くても奇麗に印刷された良い品」となってきたており、印刷技術の向上を目指し、付加価値を付けた製品を作る努力をする方向に進んでいるようです。それは、ゴム製造の大手企業が風船製作にまで進出して来て、自動化して、そのうえ色彩豊かなものを供給するようになったことも大きく影響しています。その意味では、風船印刷科は現在大きな岐路に立たされているといえますが、今皆で力を合わせて販売営業に努力し、多色刷や自動印刷機の開発実験を行っています。これらの成否が、今後の風船印刷科の存続に大きな影響を及ぼすことになります。



全労済より

自動旋盤の

寄贈を受ける

昨年五月十八日に厚生省社会局長室で、全国労働者共済生活協同組合連合会（全労済）の松下理事長さんから本会の加藤理事長に、授産作業用の自動旋盤購入費として五百万円の寄贈を受けました。翌六月末に、新しい自動旋盤二台が世田谷更生館の機械加工科に据付けられ、本格的に稼働しました。これによって生産力は急向上し、工賃の支給額にも反映した結果、利用者や職員の士気を大いに高めることができました。

老人ホームの一日

友愛ホーム



友愛ホームの、ある一日を紹介しましょう。午前七時、宿直者の手によって起床合図のベルが朝の静寂を破って、ホーム内に響き渡ると、一、二階の各居室から元気にお年寄が顔を出し、それぞれ手早く洗顔をすませる。それから各自は手に箒やちり取などを持って、居室内外の掃除に取りかかることにな

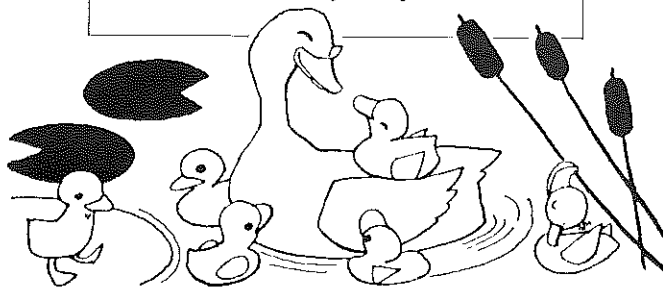
るが、ある人は当番となっている朝刊の配達に、食堂の配膳の手伝いに、ゴミの搬出に、庭園の清掃等に精を出す。そのうち、腹の虫が鳴き始め、味噌汁の匂いで千鳥夫を思い出す頃、朝餉の準備OKを知る。今朝の献立は、「みそ汁（ポテト・キャベツ）、ロースハムと野菜いため、海苔のつくだ煮、つけ物」、八時から八時三十分まで一階の食堂に九十人のお年寄が一堂に会して食事をする姿は圧巻である。その後は自由時間（身の廻り、洗濯）となる。八時五十分から九時まで指導員のリードで老人体操、九時三十分から十一時三十分までクラブ活動（華道、書道、ペン習字、手芸、小唄、踊り、茶道、民謡、詩吟、コーラス、ダンス、園芸、合奏、俳句等）毎週日替りのローテーションを組んでいるを喜々としてこなしてゆく。昼食は、十二時から十二時三十分まで、今日の昼食「きしめん、納豆のおとしやき、フローズンヨーグルト、果物、牛乳」に舌鼓を打つ。十三時から十四時三十分までクラブ活動の再開、十四時三十分から十五時まで



オヤツの時間（今日のメニューは、メロン、ヨーグルト）。毎週月・水・金の午後には入浴と笠原医師の診察がある。十七時から十七時三十分の時間は待遠しい。夕食で御飯のお代りをする健康家もいる。夕食の献立は「豆御飯、あじの塩焼、でんがく、ところてん、トマトときゅうり漬」である。夕食後は、各居室へ帰って茶飲み友達と談笑したり、テレビを楽しんだり、気の合った友が連れ立って夕涼みの散歩などに興ずる。やがて二十二時になると、友愛ホームの一日は和やかに暮れ、お年寄達は安らかな夢路を辿るのである。

ました。
全労済の皆様に、心からお礼を申し上げます。

トピックス

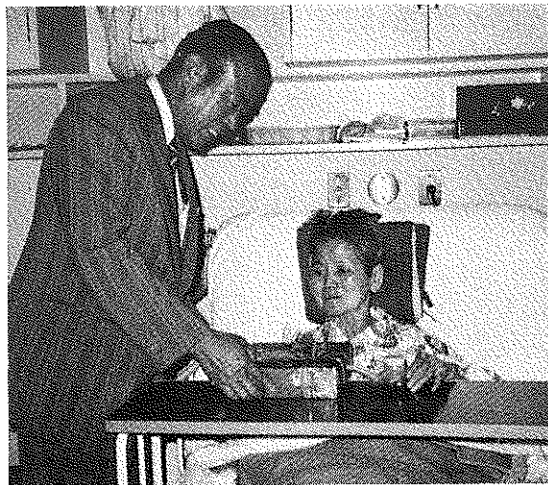


友愛書房が
新築成った中央合同
庁舎五号館に移転

本会が経営している友愛書房は、昭和二十五年十二月に身体障害者福祉法第二十二条に基づく全国初の第一号売店として、厚生省庁舎内に設置されて

老人のパラダイスⅡ町田・友愛荘

友 愛 荘



◇大自然は有難いものである。年令や障害などに関係なく友愛荘の上に朝日が昇ると、園庭の芝生は緑に映える。鶯や鶯切のさえずりとともに、前の民家のテレビの音やかなり離れた道路の町田駅行き始発バスのエンジン音までも聞こえる静かな町だ。

◇起床は六時と定めているが、ベルが鳴るわけでもなく自由で元氣な老人は、

夜勤寮母の行うおむつ交換を横目に散歩に降る。声を掛けると、「足腰を鍛えておかねば」と笑っている。新聞を上げる人もいれば、廊下の椅子でお茶を飲んでいる人達も少なくない。

◇朝のおしぼりを貰った寝たきり者(約三十名)は、七時になると早出の寮母二名と夜勤寮母二名が起こして廻る。背もたれに寄り、ベッドに渡たされた

食事台を前に配膳車を待っている。廊下から味噌汁の香りがほのかににおい、生つばを呑み込む。口に合った食事は最大の楽しみだ。(原材料費だけで一人当り月二万円以上もかけるので、四人家族だと月約九万円。立派な食事となるわけだ。)

◇食べながら、「今日は生花クラブだネ」「そうそう、水盤を洗っておこう。」。答える主はなんと意外にもクラブに入っている男性である。一方、「あーア、今日はお酒飲むよ! くだびれたもの! ホームバーでキューっと」。

呑ん兵衛で歌好きなタケさんが高笑いしているではないか。(毎週火曜の午後四時にはバーが設けられる。)

◇朝飯を食べ終ったばかりのハナさんが、「あたし、まだ食べてない!」と繰返し訴えにくる。寮母はさり気なく、「もうチョット待ってネ」と根気よく話を始めた。ホームの一日は、こうして始まる。

◇午前、午後には各種クラブ所属(華道、書道、民謡、園芸、手芸等七クラブ延五十五名)の老人達の活動が始まる。また、どのクラブにも所属しないOさん、朝早くから日の暮れるまで暇にまかせて花壇を飛び廻る。マイペー草花クラブの主である。Uさんは盆栽クラブのリーダー的存在。五葉松や楓などとの対話に余念がない。

◇集団生活の場だから、自ずから守るべき規則、規律はあるものの、余り、おしきせはしない。従って気楽な毎日であると言えよう。食う寝る所に住む所。衣食住足りて何一つ心配はない。気のおけない老人同志が、デイルームでお茶など飲み、昔話に花が咲く、まさに老人の楽園そのものである。こうした光景を見るにつけ、願わくば家族や友人の来園による精神的な絆が老人の心を癒す唯一の決め手であり、衣食・住に、この心の瀬度がより多く加われば、全く文句のない老人パラダイスなのかも知れない。



から本年は三十四年目になります。この間、障害者のいる売店として、また、厚生省の本屋さんとして親しまれてきました。が、厚生省の旧庁舎の跡地に建設中だった中央合同庁舎五号館が昨秋に完成し、厚生省の移転と共に、友愛書房も十月十六日に新庁舎へ移転しました。

移転後の友愛書房は、新庁舎の正面玄関から入って、一階の左側奥にあります。皆様のご来店をお待ちしています。

友愛十字会の参加する事業

●全国心身障害者芸能コンクール
「愛のステージ」

主催 日本チャリティ協会、友愛十字会
ニッポン放送



●合同運動会

主催 合同運動会実行委員会
参加団体 友愛十字会ほか
八団体



●宮様チャリティーボウリング大会

主催 友愛十字会（昭和五十八年度まで）
主管 関東ボウリング場協会

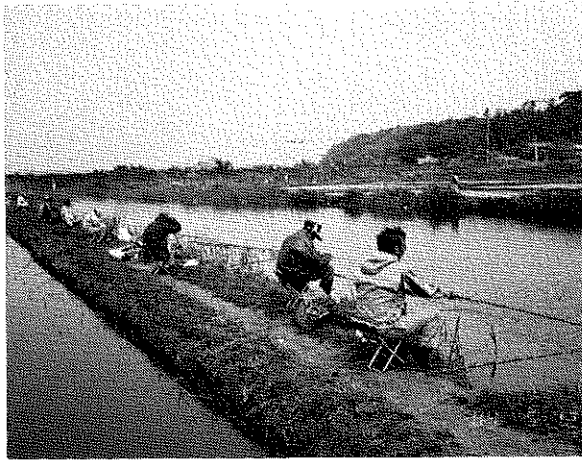


クラブ活動

楽しいへら鮒釣り

世田谷更生館

毎月第二土曜日は、クラブ活動の日である。わが友愛へら鮒釣り研究会の面々も、今日こそはと張切って早朝からいそいそと集まって来る。へら鮒釣りは、その日の水温一つとっても、仕掛け、浮き、餌のパラケ具合、棚のとり方等異ってくるので大変難かしく、また、格調高くするために研究会と名付けたが、月刊「へら」誌を始め各誌に紹介されるようになって、全国的に知られるようになった。その理由は簡単で、身体の不自由な人が難かしい釣りをすることだけでなく、競技本位にとられないで、のんびりと自然に親しみながら釣るためである。会の方針として、魚を絶対傷つけない、自然を壊さない、安全に徹すること、出来る限りかたまって竿を振ることにしているが、これは片まひの人が多いので、釣れたときに手網で掬う者が近くにいないと困るからである。また、かたまって釣っていると、釣れる場所と感ちがいをして釣師や見物人が集まって来るから不思議である。この間も



こちらがろうあ者とも知らないで、「も」と力を抜いて、自然に合わせないとだめですヨ……」と怒鳴っている人がいたけれども、釣れ続けている時はともかく、突然に来る浮きの当りには手がすくんで動かないし、釣れても途中でバラすことも多い。こんな時には、みんな両手を肩巾ほど抜けて（六十セ

ンチ以上のへらはいない）、顔に残念という文字を浮かべて飛んで来る。以前近くで釣っていた中年の人が興奮してあの生ぐさい口に頬ずりしていたのを見たことがあるが、最初に釣れた一枚はへら師にとってそれ程うれいものであり、帰りに魚を放すときには、誰でも本当に残念そうな顔をする。釣り場には色々な想い出がある。宮沢湖では、一生懸命釣っていたら、鯉の悪い白鳥に餌を全部喰べられたし、飯野水路では、田植前とも知らないで、釣り始めたらず突然水がなくなつたし、横利根近くでは、川の水を農家が飲料水にしているというので、トイレを求めて遠くまで行つたが、風で回る換気扇が逆流して臭気が強く入れないで、誰があんな物を考えたのかとうらめしく感じたこともあつた。トイレといえば毎回のことであるが、対岸に釣師、後ろに見物人、どちらを向いても同じだから、そこで用を足すことになるが、これもまた難かしい。テレくさいので変な動作をすると、不思議と視線が合う。このあたりは、わが会員は実に堂々として自然に振るまう。自然とはむずかしいものである。皆さん、ご一緒にへら鮒釣りをしませんか。

(梅原)

投稿

友愛荘十年の思い出

筒井栄吉（82歳）

去る昭和四十九年二月、自宅で突然脳せき髄性神経症になり、両足が立たず、同年五月都立養育院附属病院に入院。十二月に、病院の勧めで、友愛荘に入所した。十年一昔と言うが、全く早いもので、七十二歳で入所したが今では八十二歳となつた。この十年を振り返ると、私にとっては全く夢の様であつた。この間、二回の入院は大事に至らずに済んだが、その代り、六十年間使い慣らした大切な両手も不自由になり、私の本職である作画（日本画家）はもとより、今は、三度の食事すら口に運ぶのがやつとの有様、「病に勝つか」「死すか」毎日考えるのみであつた。あるときは喜び、悲しみ、怒り、又は、愛情のもてる人に心燃ゆる日もあつた。折角の楽園から去り行く人、死別した人への心残り、又は、心怒りて彼を刺して我も死なんと意を決した夜もあつたが……。もはや、八十二歳というこの頃は、さすがに仏に近くなつたせい

か、何もかも忘れてただ「無」になりたく、心安らかに、一日一日を大切に送らんと考える今日この頃である。その間に、友愛荘の職員の方々から笑顔で受けた指導、助言等、やさしい世話に、頑固で我がままな心も温まり、大変に有難く、うれしく思っております。終りに一句を、

ダルマ人、口に筆もつ人もあり、世話に甘えて、ホーム楽しや

十年や、ホームのベッドやはらかに、世話する人の、心うつりて

ああ、十年の月日。

(筒井さんは、この原稿を書き終えたあと、昭和五十九年七月十二日急逝されました。謹んで冥福をお祈りします。)

思ったままを

小川忠治 (70歳)

早いもので、私が当友愛荘に入所したのが昭和五十六年八月、今年で丁度四年目に入りました。この老人天国には、実に大勢の身体の不自由な人達がいいます。私も入所当時は、右手右足に不自由があったため、入所した当時は実に困りました。トイレに行くにも、食堂に降りるのにも大変でしたので、まずリハビリ訓練だと思い、毎早朝一

「心ゆたかに」

町田市ボランティア弥生会

宮村亜由子

緑豊かな環境、四季折々の花の見える大きな窓、職員の方々の暖かい心、そんな中で毎日過ごしておられる皆さんの口元から、今日もうつとうしい梅雨を吹きとばすかのように、好きな民謡や、覚えてたの演歌など口ずさむのが聞こえてきそうな気がします。友愛荘にボランティアの一員として、買物介助などお手伝いさせていただくようになって、早いもので六、七年になるでしょうか。沢山の方々と出会い、また、何人か悲しい別れもありましたが、お陰様で月二回の東急デパートでの買物は、もうすっかり生活の一部となっております。車椅子を押していて、買物もさることながら、どんなことを話題にしたら興味を示して下さるか、どのようにすれば喜んで下さるかとお悩むこともあります。ほとんどの方はお顔なじみで、そんな気遣いは必要ありませんが、あなたにも出来るだけ明るく、朗らかに接して、楽しいひとときを過ごしたいなと心掛けています。そのためには、自分の心境をいつも高めておかなければ

人で黙々とリハビリ訓練用の自転車に乗ったり、青竹踏みやら、肋木台につかまり一日三十分は必ず訓練をやるうと、心に決めて努力しました。またその他に、お華クラブや、習字クラブ、ゲートボール、唄クラブと、あらゆるクラブに入部しました。そのためか、どうやら字も書け、唄も歌えるようになり、毎日の生活にも張りが出て、ホームの生活が楽しく、また大勢の友達に支えられ元気に、かつ明るい気分の日々を過ごすことができるようになりました。私の一番好きなことは、大声を出して唄えるカラオケと民謡等で、「ささなかの宿」と「武田節」がおはこになりました。また、ゲートボール大会にも、下手の横好きで選手の仲間入りをさせてもらい、大いに張切っています。お花見も必ず参加し、隔週の外出訓練も楽しみの一つになっています。私達入所者を側面的に援助してくれる寮母さんや、職員の皆さん達のご苦労、ご努力には、感謝しなければならぬと思っております。国や都、当町田市の関係者の人々も、本当に大変だろうと思います。なんの苦労もせず、楽しく暮らせて頂くことに、深い感謝とお礼を申し上げて、私の感想にしたいと思います。



今、思うこと。

ろうあ者更生寮

山野寧之

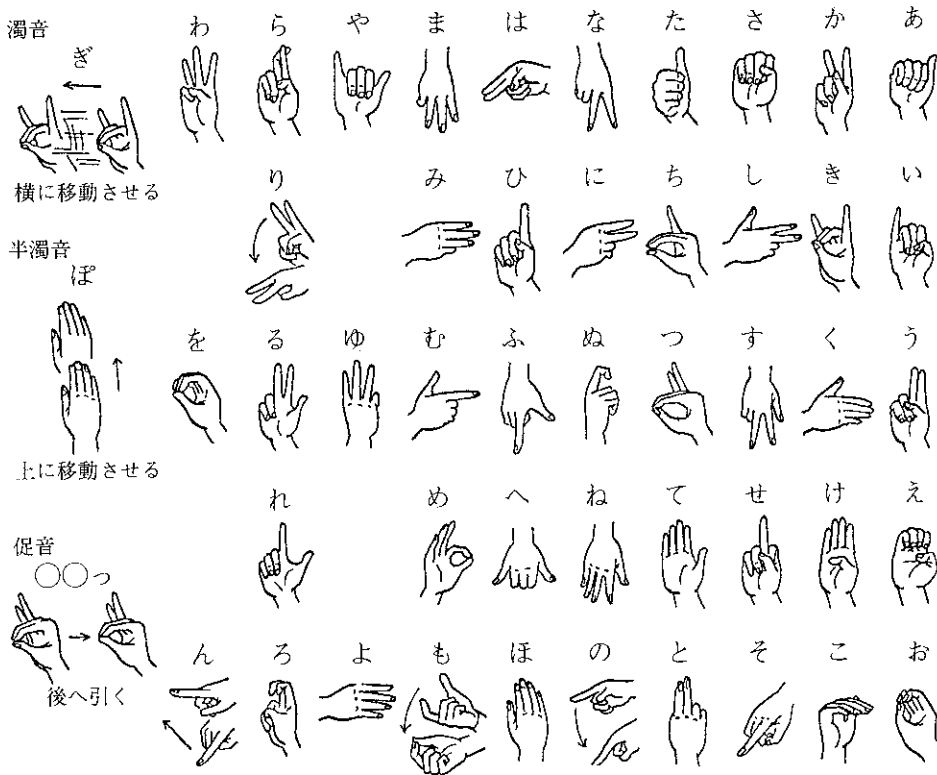
連休も無事に終り、ほっとしています。今月は、楽しい行事がいろいろあつて、仕事の疲れもなくつてしまいうです。仕事もまじめにできるよう

になって安心していきます。今年は天候
 が異常なのがまんしなければならな
 い。風邪もひきやすいし、健康には特
 に気をつけなければならぬ。察には
 きまりがあつてきびしいです。自分
 思いのままには、いけないものだど強
 く感じられます。悲しいこともあれば、
 楽しいこともある。一日一日を大切に
 過したい。みんな時間を大切にしてい
 る。相手の気持を考え、いたわる気持
 考えなければならぬ。

一番大切なことは、努力すること
 ある。自分の欠点を直さなければなら
 ない。人間はかならず弱いところがあ
 る。それを強くしていかなければなら
 ない。そのためには長い時間が必要で
 す。無視される時代に生きてきた私た
 ちは、いつかきつと認めてくれる時が
 くるだろう。認めてくれる時代に、世
 の中はきつと変わるだろう。わがまま
 いけないし、おもちゃ扱いにするよう
 な気持ちいけない。いいかげんな考え
 を持つてはいけない。
 何でも大切にしようというような心
 がけが必要である。視野がせまいの
 が、非常に悲しい。もつと広い心を持
 っていないと、こわれた機械のよう
 な状態になってしまう。人間とはどん
 なものなのかを強く知りたいものだ。
 今からでも、がんばつていきたいと
 思う。

手話の紹介

聴覚障害者の日常生活でのコミュニケーションの中心は、手話法になりつつあります。簡単な手話を継続して紹介しますので活用して下さい。第一回は「指文字」です。



友愛十字会主要行事

58・4・1～59・3・31

58・4・12 ピクニック・多摩動物園へ

(友愛ホーム)

19 花まつり演劇会(友愛荘)

24 第九回全国心身障害者芸能大

会「愛のステージ」の実施(本

部事業・更生館及び友愛園参

加)

27 東京都ろうあ者更生寮落成式

22 四寮対抗運動会(ろうあ更生寮)

25 地域交流ゲートボール大会(友

愛荘)

30 昭和五十八年度第一回役員会

9 第三十三回東京都身体障害者

体育大会参加(更生館・友愛

園・ろうあ更生寮)

4 新橋演舞場招待(友愛ホーム)

23 キャンプ・軽井沢町営キャン

プ場(ろうあ更生寮)

26 27 盆おどり(世田谷三施設)

27 父兄との懇談(更生館・友愛園)

8 6 7 盆おどり(ろうあ更生寮)

7 修了生交流会(ろうあ更生寮)

24 地域交流納涼大会(友愛荘)

9 12 「敬老号」参加(友愛ホーム)

14 みんなの音楽会出演(更生館・友愛ホーム)

職員異動

9・18 板橋区身障スポーツ大会参加
(ろうあ更生寮)

29 老人施設芸能大会参加(友愛ホーム)

10・2 地域老人とのゲートボール大会(友愛荘)

第九回合同運動会(世田谷二施設)

17 友愛書房、中央合同庁舎第五号館に移転開店

19 一泊旅行―草津温泉(友愛ホーム)

20 野外訓練―長野県諏訪湖(ろうあ更生寮)

11・1・3 文化祭(友愛荘)

5 生活展の開催(更生館・友愛園)

6 文化祭(世田谷三施設)

27 第十七回宮様チャリティボウリング大会の実施(本部事業、更生館及び友愛園参加)

12・17 演劇祭(ろうあ更生寮)

22 クリスマス交歓会(友愛荘)

23 年末懇親パーティー(更生館・友愛園)

27 クリスマス会(友愛ホーム)

59・1・5 新春ゲーム大会(世田谷三施設)

世田谷更生館 58・4・1・59・6・30

採用 指導員 高橋正明 58・5・1

退職 調理員 菊池一朗 59・4・1

指導員 向山雅三 58・6・30

指導員 横田ヒサヨ 58・9・16

伊藤 康 59・2・29

友愛園 採用 調理員 斉藤忠行 59・3・1

東京都ろうあ者更生寮 採用 事務員 山口由美子 58・8・21

指導員 平田治安 59・6・21

退職 庶務部長 金谷勝太郎 58・7・1

指導員 鈴木茂美 59・6・20

友愛ホーム 採用 寮 母 小川昌子 59・1・1

退職 川端フミ 58・12・28

寺重タツヨ 59・4・20

転任 指導部長 亀山 登 59・4・1

採用 調理員 小山房江 58・7・1

医 師 簡 景春 58・10・1

看護婦 吉田裕子 59・1・21

中村カヨ子 59・2・1

寮 母 若槻 博 59・2・21

藤田ユミ子 59・3・1

園 長 狩野昭治 59・4・21

寮 母 島田信子 59・5・1

退職 調理員 小峰一郎 58・4・4

介助員 松島千代子 58・4・14

医 師 田中芳雄 58・9・30

看護婦 山口鶴子 59・1・20

吉沢貞子 59・1・20

寮 母 城 貞子 59・2・15

山本きえ 59・2・27

園 長 植木得重 59・4・20

寮 母 伊藤富久子 59・4・30

転任 指導部長 津村一彦 59・4・1

編集後記

○ 今年の冬は、異常に寒かった。だから夏も低温だろうと予測されていた。予想は見事にはずれて、蒸し暑い日が続いています。

○ 「暑い」ということばの語源は、手に火をつけて、アアと驚き、手をツツと引くことから生じたといわれています。

○ 長い間、休刊になっていた機関紙を今年から復刊することにしました。この暑い中、総裁殿下のご指導をうけて編集関係者一同、読み易く、親しめる紙面をめざして努力いたしました。

○ 本紙は、本会の創立記念日が、九月二十五日ですので、この日に合わせて発行しました。

計 報

本会評議員 高木武三郎氏は、心筋梗塞のため去る五月二十六日ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ゆうあい

昭和五十九年九月二十五日発行
発行 社会福祉法人友愛十字会
発行人 草原 国 司
〒157 東京都世田谷区砧
三丁目九番十一号
電話(〇三) 四一六一三六

善意のかずかず

昭和五十八年度中に、次の方々から善意の金品のご寄贈を頂き、また、利用者をご慰問下さいました。ここに心から御礼を申し上げます。

(寄附金) 敬称略 あいうえお順

○世田谷関係

アメリカンクラブ・ウーメンズグループ	新井道治	朝日奈ハナエ	町会	大蔵住宅自治会	小方つね
新井電気	井山建設	井上洋品店	オークラストア	関東ボウリング場協会	川窪ませ
井上シゲ子	石川工芸	今井勇	藤常雄	笠原六郎	金子秀雄
伊藤印刷	石井徳成	石井アサ子	藤かずゑ	砦教会教会学校	木下
石井自転車商会	いしげ理髪店		財団	北村志げ	共栄会
内山治子	漆間美乃	魚虎	治会	砦商事	熊本哲之
NHK中央研究所	奥沢小学校	子	重子	国際放映	近藤徹風
NHK中央研究所	奥沢小学校	子	英一	光寿会	小坂徳三郎
供会	大野清之助	大宮市	幸子	佐藤律子	佐藤孔版社
湯	小野坂豆腐店	大蔵木材工芸	さ家	ジャパンレディスボウリングクラブ	昭和女子大高等部
越智通雄	小野きみ子	大蔵東部	鈴木シゲ子	世田谷区	世田谷婦

山よし子	矢藤利男	豊不動産	横	柳屋商店	柳田果実店
二売場	柳屋商店	柳田果実店	尾登茂江	山本晴之介	八百周第
田美智子	宮田政義	森政子	本	松本千鶴子	三ツ和会
細谷まち子	前川栄子	まやま	宮	藤蔭静照	富久出屋
一商店会	北洋水産労働組合	星	野商店	本多シズエ	ボヌール
日化ゴム工業	野崎芳江	花菊	林徳	浜中米店	ひびき会
ちや精肉店	普濟寺(弓場重昌)		藤蔭静照	富久出屋	フジストア
郷厨房	南部自動車	内藤千紗子	内藤壽昭	長島光重	西村定治
会	同栄信用金庫世田谷支店	東	銀座ライオンズクラブ	東急弘潤	
竹園	津乃多	手島よしの	東京	太丸屋	千歳農協婦人部
淳夫	高橋商店	谷理髪店	竹内	秀典	高橋商店
振興組合	たちばな友の会	高橋	聖文堂	祖母谷南商店街	
人大学					

○東京都ろうあ者更生寮

酒井精機	三徳志村支店	佐藤哲	夫	佐藤俊一	志村銀座商店街青
年部	同振興会	新冷工業	清水	善次郎	鈴木正子
橋寿恵子	高橋貞治	田中直文	竹川幸	戸田吉浄	東京都葛飾通
勤寮	富山工務店	東京都社会福	祉協議会	新山福治	日生会
岸一雄	原嶋武一	馬場印刷	長	谷川製本所	平林精機製作所
川国夫	深瀬静雄	福石幸紀	細	田輝夫	松丸管工
上源治郎	山下政一	山本照彦	四家威雄	若野政光	和知敏雄

○友愛荘

荒木菅達 生田幸子 奥島高雄
片貝泰光 佐藤福雄 坂原久子
下小山田老人会 菅野昭正 杉本
薫 高砂会 高野歌子 玉川学園
高美台健康友の会 常盤長寿会
徳山宮子 涛月会 中村節夫 橋
本好朗 藤井小夜子 保坂幸子
本郷一俊 町田市民踊親和会 三
澤武次 木曜会 吉田剛

(寄附物品)

○世田谷関係

石田潮司郎商店 稲葉一男 石橋
誠 石合幸雄 小野愛子 治園
小川信治 小畑敏雄 カルピス食
品工業 花王石鹼 加藤義郎 神
田市場青果事業協同組合連絡協議

会 紀文 麒麟麦酒 銀座ライオ

ンズクラブ 協和銀行祖師谷支店

三和 親切会東京支部 シヤルレ

新宿ステーションビルディング

鈴木勇次 鈴木宏子 全国杉の子

会連合会東京地区本部 専売公社

武蔵野営業所 成城ライオンズク

ラブ 関塚商店 第一興商リース

事業部 中央グンゼ販売 東京都

麵類協同組合 東京都食肉環境衛

生同業組合 東京都中華料理環境

衛生同業組合世田谷支部 東京穀

物商品取引所取引員協会 東京健

食 日清製粉 晴常園 柏朋会

平岡会 ヒノキ新薬 土方貞彦

富士通労働組合ファコム支部 み

やじま 村上百合子 目黒星美学

園 靖国神社 柳田商店 やよい

商会 山県寿子 読売新聞社出張

所 レブコ 若葉会

○友愛荘

石田潮四郎商店 花王石鹼 紀尾
井町ライオンズクラブ 麒麟麦酒
専売公社八王子営業所 榊行会
築地賢作 東京関東ライオンズク
ラブ 東京都麵類協同組合 東京
穀物商品取引所取引員協会 中里
いね子 フェニックス 町田魚商
業組合 都寿司 四ツ葉会 レブ
コ

(慰問奉仕)

○友愛ホーム

桜会 砧教会 シオン教会 ひま
わり会 奥沢小学校子供会 若葉
会 宮島様と学生 読売愛と光の
事業団 世田谷中華組合 平岡会
目黒星美学園 世田谷私立高校生
徒委員会第八支部

○友愛荘

都寿司 桜美林幼稚園児 町田市
聖書教会 すみれ会 町田市三中
PTA 御厨洋プロダクション
忠生中学PTA生徒 小山田地区
小中学生 東京紀尾井町ライオン
ズー東京関東ライオンズクラブー
町田小田急ー銀亭ー西村果物店
鶴川高校 辰巳団地みのり会 天
理教北多摩支部 町田市「コール
忠生」PTA サークル東雲会

